



市民活動 サポートセンター 通信

No.70

2022.2



セミナー
開催報告

新たな仲間を巻き込み、担い手を増やすには？

市民活動サポートセンターでは、2月5日(土)に市民活動スキルアップセミナー「コミュニティマネジメント入門編～強くてあたたかい組織の作り方～」を開催しました。

NPOや市民活動、サークル活動の組織運営やマネジメント支援を手掛けるNPO法人CRファクトリーの理事長・呉哲煥さんを講師に招き、オンラインと会場で、また会場では4名ずつ3部屋に分かれ、感染症対策を取りながら学びました。



非営利組織に共通の悩みとして理念への共感の差、主体性やモチベーションの差など様々な「温度差」があることを課題にあげ、5つのコミュニティマネジメントの基本原則を意識しながら主体性や愛着を高める働きかけが重要というお話がありました。ワークでは原則の一つ「お金以外の報酬に注目する」に関して、活動に関わる人がどのようなことに喜びややりがいを感じているのか考えました。個々の動機づけを把握し、それを満たすことができる機会の提供を心掛ける、という解説がありました。

人をうまく巻き込み、定着してもらい、担い手になってもらうためのポイントとしては「興味(面白そう)→愛着(この団体居心地がいい)→主体(この団体のために頑張りたい)」という巻き込み方の流れがあり、それぞれの段階に応じた取り組みが必要というお話がありました。参加者は自分たちの団体はどこができてどこが足りていないのか、これからどのような取り組みができるかといったことについて考え、グループで話し合いました。

最後に愛着と関係性が成果につながることで、そして愛着と関係性は「相互理解」により醸成されていくことから、メンバー同士が相互理解するための仕組みを意図的に組み込むことが重要というお話がありました。

参加者の声

「課題」と感じている内容がそのまま整理された感じです。取り上げられた課題、課題解決への取り組みは日頃から気が付いていたことですが、図解や説明でとてもスッキリしました。

【新刊情報】

コミュニティマネジメントの教科書

今回のセミナー内容を網羅し、さらに具体的なワークのやり方等が盛り込まれた書籍をサポートセンター情報コーナー(市役所本庁舎1階東ロビー)に設置しました。

【目次】

- ・コミュニティマネジメントの基本理論
- ・優れたコミュニティの要件
- ・コミュニティマネジメントのワーク集
- ・これからの日本社会にコミュニティが必要な理由

情報コーナーには、他にもテーマ別に先進的な取り組みを紹介する月刊誌「地域づくり」など、参考になる書籍を置いています。ぜひお立ち寄りください！





情報コーナー

*新型コロナウイルスの感染状況によっては中止または縮小となる場合があります。

詳細はお問い合わせ先へご連絡ください。

*市民活動サポートセンターホームページでより詳しい情報を掲載しています。

協働のまちづくりフォーラム

- ◇日時 3月6日(日)13:30~16:00
- ◇場所 オンラインまたは市役所本庁舎4階大会議室
- ◇内容
 - ・基調講演
「子育てしやすいまちには未来があります」
(講師：NPO法人マミーズ・ネット理事長)
 - ・市民協働事業提案制度実施事業成果発表
 - ・つながりひるがる地域づくり事業事例発表
- ◆問い合わせ 地域づくり課 (71-2494)

明科いいまちサロン「地域とともに！明科高校のいま」

- コロナの影響により従来行っていた地域との交流活動が途絶えるなど様々な制約を受けながら学校生活を送る高校生。先生や生徒の皆さんの現状を聞き、理解を深めます。
- ◇日時 2月22日(火)10:00~11:30
 - ◇場所 明科公民館 講義室
 - ◇テーマ 明科高校の現状と課題
 - ◇講師 松村真一さん(明科高校校長)
 - ◇問い合わせ 明科いいまちつくろうかい!! (62-4605)

穂高神社謎解き探究探検ウォーク

- 地図とワークシートをヒントに、穂高神社を探検する謎解きラリー！子どもたちが自らルートを考え、魅力に気づき、疑問を持ち、探究するフィールドワークです。
- ◇日時 3月6日(日)10:30~12:00
 - ◇場所 穂高神社北神苑
 - ◇対象 小学3~6年の子どもを含む家族(先着15組)
 - ◇参加費 500円(子ども1人あたり)
 - ◇申込 安曇野百選プロジェクト
(事務局)市観光交流促進課 (71-2053)

まちむら寄り添いファシリテーター養成講座 成果報告会

- 住民に寄り添い想いを引き出しながら、住民主体の地域づくりをサポートするファシリテーション技術を実践的に学んだ成果を報告します。これからのまちづくりについて共に考えましょう。
- ◇日時 2月27日(日)15:00~17:30
 - ◇方法 オンライン(Zoom)
 - ◇対象 地域活動に携わる方、福祉・自治会の担い手、これからの地域づくりに参画したい方
 - ◇申込 2月24日(木)までに申し込みフォームから
 - ◇問い合わせ 県企画振興部 地域振興課(026-235-7021)

長野県シニア大学 学生募集

- ◇入学資格 おおむね50歳以上の県内在住の方
 - ◇学習時間 2年間/年間15日 1日4時間
 - ◇学習内容 教養講座、実技講座、社会活動講座
 - ◇授業料 年間12,000円
 - ◇申込 3月25日(金)までに入学願書を松本合同庁舎または市長寿社会課へ提出
 - ◇問い合わせ 県長寿社会開発センター(026-226-3741)
- *リーダー的な人材を育成する「専門コース」もあります。

安曇野市朗人大学 学生募集

- ◇入学資格 60歳以上の市民
- ◇開講日 令和4年5月~令和5年3月(月1回)
- ◇主会場 豊科ふれあいホール
- ◇内容 教養講座、実践講座(健康、文化、地域福祉等)
- ◇定員 100人(申し込み多数の場合抽選)
- ◇申込 3月1日~4月8日に入学願書を提出
- ◇問い合わせ 市社会福祉協議会地域福祉係 (72-1871)

わかば基金

- ◆助成対象 地域に根差した福祉活動を進めるボランティアグループやNPO法人
- ◆助成内容 支援金部門、災害復興支援部門、リサイクルパソコン部門
- ◆助成期間 令和4年7月~令和5年3月
- ◆募集期間 3月30日(水)まで
- ◆問い合わせ NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
(03-3476-5955)

生活学校助成

- ◆助成対象 子どもや高齢者の見守り活動、ごみ回収やリサイクル活動など身近な地域や暮らしの様々な課題解決に取り組む地域活動団体
- ◆助成内容 ①生活学校への参加(2年間で6万円)
②全国運動への参加(上限5万円)
(現テーマ「食を通じた子どもの居場所づくり」)
- ◆募集期間 4月30日(土)まで
- ◆問い合わせ あしたの日本を創る協会 03-6240-0778

◆◆◆イベント情報をお寄せください◆◆◆

- ・市民活動サポートセンター通信やホームページで、皆さんの活動やイベントの広報をします。参加者や会員の募集を呼び掛けることができますので、お気軽に市民活動サポートセンターにご連絡ください。
- ・イベントや催し、普段の活動に、センター職員や市民活動サポーターが取材に伺います。活動のPRにご活用ください。

【発行】安曇野市市民活動サポートセンター

〒399-8281 安曇野市豊科6000 安曇野市役所本庁舎2階 地域づくり課内
 電話 0263-71-2013 営業時間 月曜日~金曜日 8:30~17:15
 メール kururin@city.azumino.nagano.jp ※祝日/年末年始(12/29~1/3)除く

ホームページ



Facebook



Instagram

